

課題内容

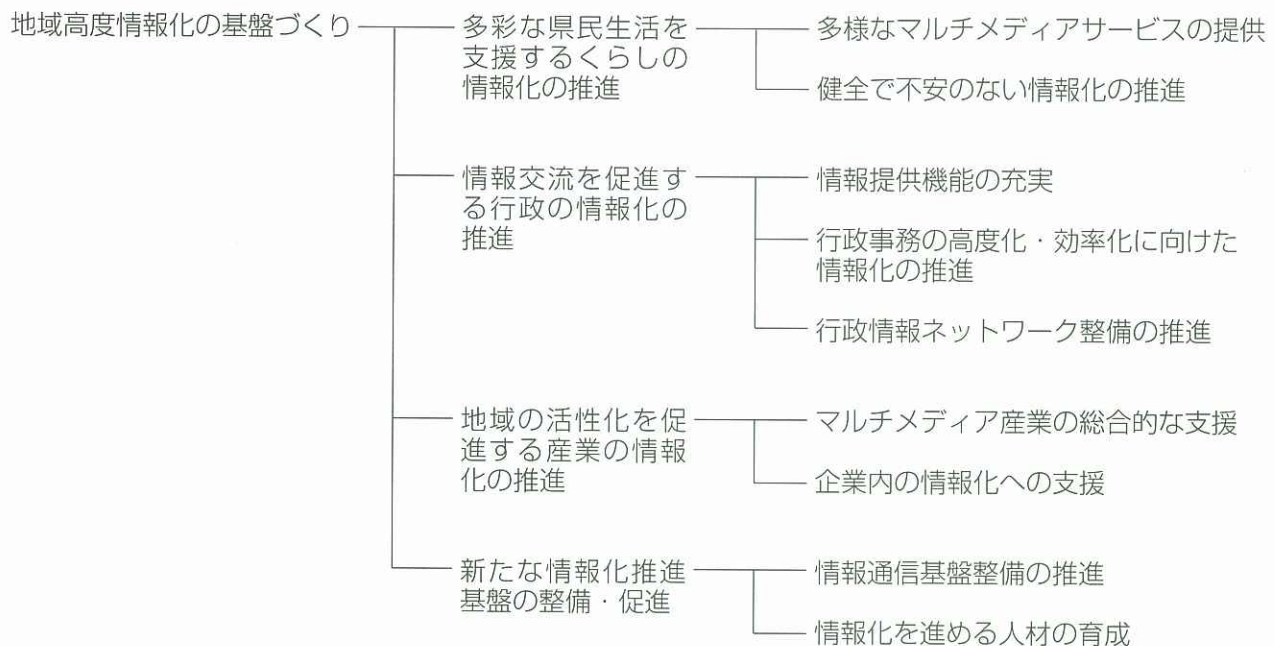
高齢社会への対応や多彩な県民生活の実現、地域経済の活性化などの様々な課題を解決するため、「情報・知識」が自由に創造、流通、共有される「情報ネットワーク社会」を構築することが大きな課題となっています。

このため、進歩が著しい情報技術や情報ネットワークを活用し、多様なマルチメディアサービスを提供するなど、県民のくらしの分野を中心に、情報化を進めるとともに、個人情報の保護などに十分留意し、健全で不安のない情報化を進めます。

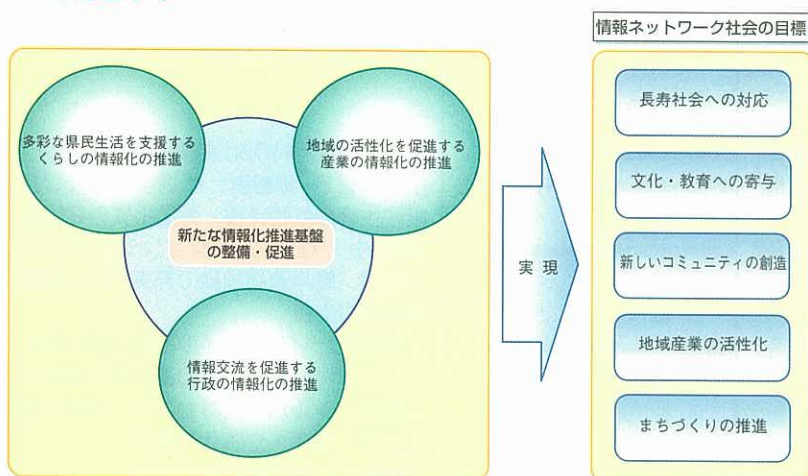
また、県民に開かれた県政の実現に向け、行政の情報化を進めるとともに、新産業としてのマルチメディア産業の振興や既存産業の高度化を促進する地域産業の情報化を進めます。

さらに、こうした情報化の進展を支える光ファイバ網などの次世代情報通信基盤の整備・促進や人材の育成を進め、県民が主体となる活力ある地域社会（情報ネットワーク社会）の実現をめざします。

政策展開の方向と関連主要施策



概念図



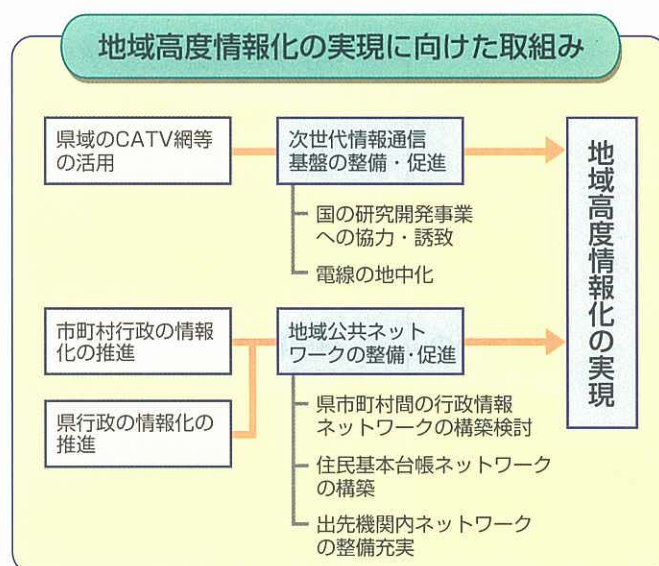
街頭で行政情報が得られる情報端末（相模原市）

<これまでの重点プロジェクト「くらしと産業を支える情報ネットワークの構築」の取組み>

- 公共的アプリケーション^{※1}の整備
 - ・生涯学習情報システム他9システム
- 県庁内の情報化
 - ・本庁のネットワーク整備
 - ・インターネットによる情報提供機能の充実
 - ・オンライン資料室の開設(2000年4月)
- 次世代情報通信基盤の整備・促進
 - ・かながわ広域CATV^{※2}ネットワーク推進協議会を設置し、次世代情報通信基盤の構築や活用方法などを検討
 - ・通信・放送機構(TAO)^{※3}の研究開発事業の誘致

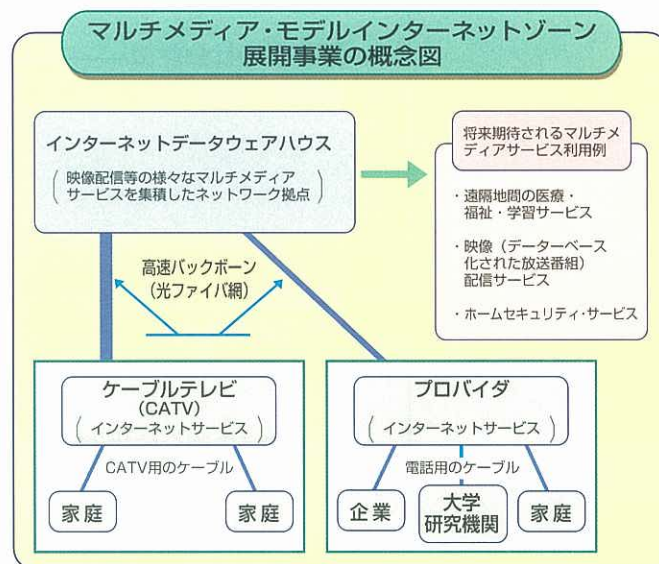
<今後の方向>

以上のように一定の成果が達成できたことと、地域における高度情報化の基盤づくりは民間事業者の主導で進めることが基本であることから、重点プロジェクトとしての取組みはありませんが、地域高度情報化の実現に向け、県・市町村行政の情報化の推進や国の研究開発事業の活用など、国、市町村、民間と連携して、次のような施策を推進します。



- 次世代情報通信基盤の整備・促進
 - ・CATVやプロバイダ等を相互に結ぶ情報の流通拠点の構築に向けた研究開発事業(マルチメディア・モデルインターネットゾーン展開事業)の推進

- 地域公共ネットワークの整備・促進
 - ・ワンストップ・ノンストップサービス^{※4}の実現に向けた課題の検討
 - ・県と市町村間でのインターネットを利用した行政情報の交換の実施に向けた取組み
 - ・住所地以外のどこの市町村でも住民票の写しを受け取れるなどの機能を持つ住民基本台帳ネットワークの構築・運用に向けた取組み



※1 公共的アプリケーション…県民生活向上に役立つ情報提供などができるコンピュータシステム。
 ※2 CATV…ケーブルを使って各家庭などにテレビ放送や自主放送などを配信する有線テレビのことで、最近では、インターネットサービスなどの通信用としても利用されている。
 ※3 通信・放送機構(TAO)…情報通信分野の研究開発や通信放送事業に関する各種支援などを行う郵政省の認可法人。
 ※4 ワンストップ・ノンストップサービス…情報端末等により、転居に必要な様々な届出等の行政手続が一か所(ワンストップ)において、24時間(ノンストップ)受付できるサービスなどをいう。